



DJ CONTROLLER

**VCI-300MKII**

serato

**ITCH**

**取扱説明書**

P.2 ~

**OWNER'S MANUAL**

P.26 ~

〒154-0023  
東京都世田谷区若林1-18-6  
Web: [www.vestax.jp](http://www.vestax.jp) E-Mail: [cs@vestax.jp](mailto:cs@vestax.jp)

**Head Office**  
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Ja  
Web : <http://www.vestax.com/>

**Vestax Global Support (US)**  
[csg@vestax.jp](mailto:csg@vestax.jp)

**Vestax Europe Support (Eutope)**  
[cse@vestax.jp](mailto:cse@vestax.jp)

## ごあいさつ

この度は、ベスタクスDJコントローラー VCI-300MKIIをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読みくださるようお願いいたします。

## ご使用上の注意

### 電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

### 設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出る場合があります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

### お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

### 修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方（過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

### その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体（頭の部分）を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



**警告** この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

△記号は注意を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(上図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

### 警告



電源プラグを  
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### 注意



電源プラグを  
コンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めぎった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

## 目次

ごあいさつ	2	基本操作画面	15
ご使用上の注意	2	VIRTUAL DECK (バーチャル・デッキ)	15
安全上の注意	3	トラック表示	15
目次	4	TAP TEMPO (タップ・テンポ)	15
セットアップ	5	TRACK OVERVIEW (トラック・オーバービュー) 表示	15
同梱品一覧	5	MAIN WAVEFORM (メイン・ウェーブフォーム) 表示	15
動作環境	5	TEMPO MATCH (テンポ・マッチ) 表示	15
ソフトウェアインストール	5	BEAT MATCH (ビート・マッチ) 表示	15
Macへのインストール	5	CUE ポイント	16
Windowsへのインストール	6	CUE POINT STATUS (キュー・ポイント・ステータス)	16
接続	7	仮 CUE ポイント	16
USB	7	ループ	16
スピーカー	7	AUTO LOOPING (オート・ループ)	16
ヘッドホン	7	LOOP ROLL (ループ・ロール)	16
ソフトウェア概要	8	ミックス	17
トップパネル部の名称と機能	9	次のトラックを検索する	17
フロント部とリアパネル部の名称と機能	10	デッキにトラックをロードする	17
音楽のインポート	11	ヘッドホンでモニターする	17
ライブラリにファイルを追加する	11	スタートポイントを調整する	17
iTunesライブラリを表示する	11	BPM を合わせる	17
CDトラックを読み込む	11	PITCH SHIFT (ピッチ・シフト)	17
再生できるファイルの種類	11	AUTO TEMPO (オート・テンポ)	17
再生できるファイルの種類	11	次のトラックを頭出しする	17
再生できるファイルの種類	11	BEAT SYNC (ビート・シンク)	17
再生できるファイルの種類	11	REPEAT AUTO PLAY (リピート・オート・プレイ)	17
ファイルを準備する	12	ライブラリを活用する	18
ファイルを解析する	12	メイン・ライブラリ画面	18
ファイルの解析を行う	12	CRATE (クレート)	18
破損/エラーファイルについて	12	SUB CRATE (サブ・クレート)	18
オートBPMを設定する	12	トラック情報表示設定	18
TRACK GAIN(トラック・ゲイン)	12	TAGGING (タグ)	18
OFFLINE PLAYER (オフライン・プレイヤー)	12	ALBUM ART (アルバム・アート)	18
OFFLINE PLAYER (オフライン・プレイヤー)	12	LIBRARY AUTO-BACKUP (ライブラリ・オート・バックアップ)	18
OFFLINE PLAYER (オフライン・プレイヤー)	12	ライブラリ管理	18
ライブラリの検索	13	HISTORY	19
VCI-300mk II を操作して検索する	13	レコーディングとマイク	20
マウスとキーボード	13	その他の設定	21
ブラッターでのスクロール	13	SOFTWARE VERSION (ソフトウェア・バージョン)	21
トラックを検索する	13	HARDWARE (ハードウェア)	21
項目でトラックを検索する	13	PLAYBACK (プレイバック)	21
ライブラリのアイコンについて	13	LIBRARY (ライブラリ)	22
準備ウィンドウ	13	DISPLAY (ディスプレイ)	22
準備ウィンドウ	13	MIXER (ミキサー)	22
操作の仕方	14	WHITELABEL オーディオファイル	23
デッキにトラックをロードする	14	トラブルシューティング	23
VCI-300mk II でロード	14	サポート	23
キーボードでロード	14	ITCH ソフトウェア・アップデートとオンライン・サポート	23
マウスでロード	14	オフィシャル・サポート・チャンネル	23
トラックを再生する	14	破損 / エラーファイル	24
TRACK SCROLL (トラック・スクロール)	14	保障とアフターサービスについて	25
ゲイン調整	14		
アイソレーター調整	14		
KEY LOCK (キー・ロック)	14		
QUARTZ LOCK (クォーツ・ロック)	14		
REVERSE PLAY (リバース・プレイ)	14		
ブラッターのコントロール	14		
感度調整	14		

## セットアップ

### 同梱品一覧

開封後以下の同梱品をご確認ください

- ・ 本取扱説明書
- ・ VCI-300mk II 本体
- ・ USBケーブル
- ・ Serato ITCHインストールCD-ROM

### 動作環境

Mac / Windows において動作させる場合、以下のスペックが必要となります

#### MAC

- ・ G4 1.5GHz processor 以上
- ・ 1GB RAM
- ・ OS X 10.4.11以上
- ・ Mac本体のUSBポートを使用できること
- ・ 音楽データ用ハードディスクに余裕のあること

#### WINDOWS XP

- ・ Pentium 4 mobile 2GHz processor 以上
- ・ 1GB RAM
- ・ Windows XP (SP2)以上
- ・ PC本体のUSBポートを使用できること
- ・ 音楽データ用ハードディスクに余裕のあること

#### Windows VISTA and Windows 7 (32bit & 64bit)

- ・ Intel processor, Core Duo 1.6 GHz 以上
- ・ 1.0GB RAM
- ・ Windows Vista (SP2) 以上
- ・ PC 本体の USB ポートを使用できること
- ・ 音楽データ用ハードディスクに余裕のあること

### ご注意

ITCHを正常動作させる為には、使用されるコンピューターのシステムが上記の最低条件を満たす必要があります。最善のパフォーマンス及び現場でのご使用の際は、より良い仕様のコンピューターをお買い求め頂くことを推奨致します。また、AHD社製CPUは動作を保障していません。

### ソフトウェアインストール

ITCHの無料アップデートをwebよりダウンロードできます。  
<http://www.serato.com/itch>

※インストールを実行する前に最新版をチェックしてください。

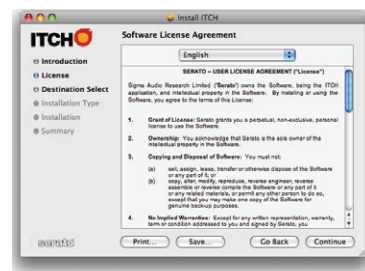
### Macへのインストール

- ・ Serato ITCHインストール・ディスクをドライブに挿入し、Finderでブラウズします
- ・ ITCHダウンロード・インストーラーが保存された場所をFinderを使って探し、ITCH.dmgをダブルクリックして開きます
- ・ ITCH installer .mpkgをダブル・クリックしてください

1. 以下の画面が表示されます。Continueをクリックしてください



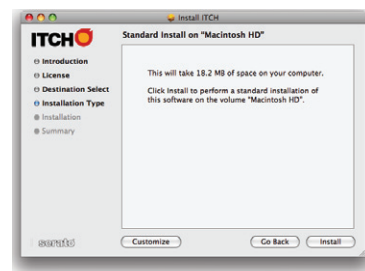
2. 使用許諾契約書の同意するを選択し、Continueをクリックしてください



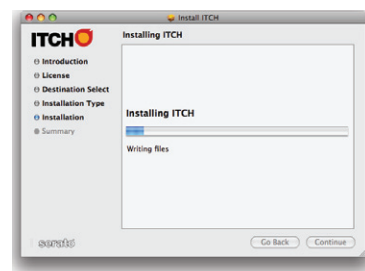
3. インストール先のハードディスクを選択し、Continueをクリックしてください



4. インストール先を確認してInstallをクリックしてください



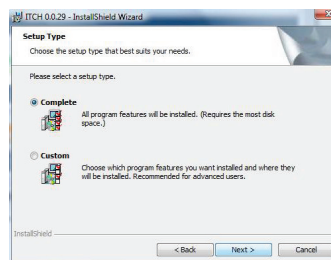
5. ITCHがインストールされます



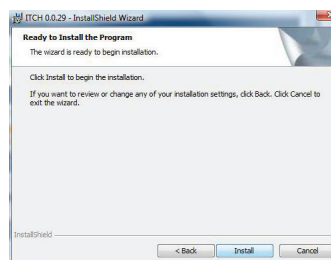
6. インストールが完了すると以下のように表示されます



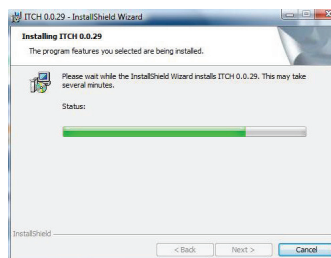
4. インストール方法を選択し、Nextをクリックしてください。(コンピューターはスタンダードなインストールを行います)



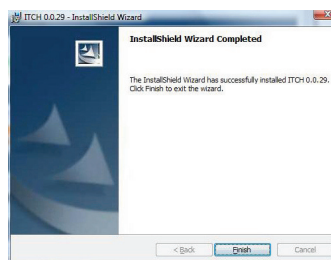
5. Installをクリックしてください



6. ITCHのインストールが開始します



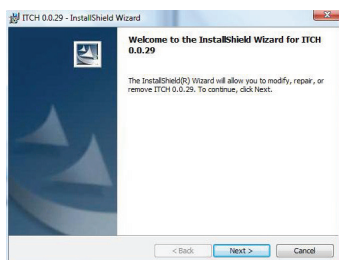
7. インストールが完了すると以下のように表示されます



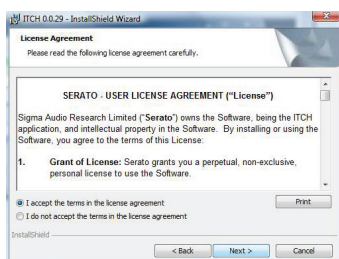
## Windowsへのインストール

- Serato ITCHインストール・ディスクをドライブに挿入し、Windows Explorerでブラウズします
- ITCHダウンロード・インストーラーが保存された場所をWindows Explorerを使って探し、ITCH.zipをダブル・クリックして解凍します
- ITCH\_installer.exeをダブル・クリックしてください

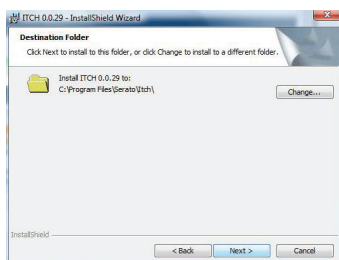
1. 以下の画面が表示されます。Nextをクリックしてください



2. 使用許諾契約書に同意し、(I accept the terms in the license agreementを選択)Next をクリックしてください



3. インストール先を指定してNextをクリックしてください



## ソフトウェアを起動する

ITCH は下記の場所にインストールされます :

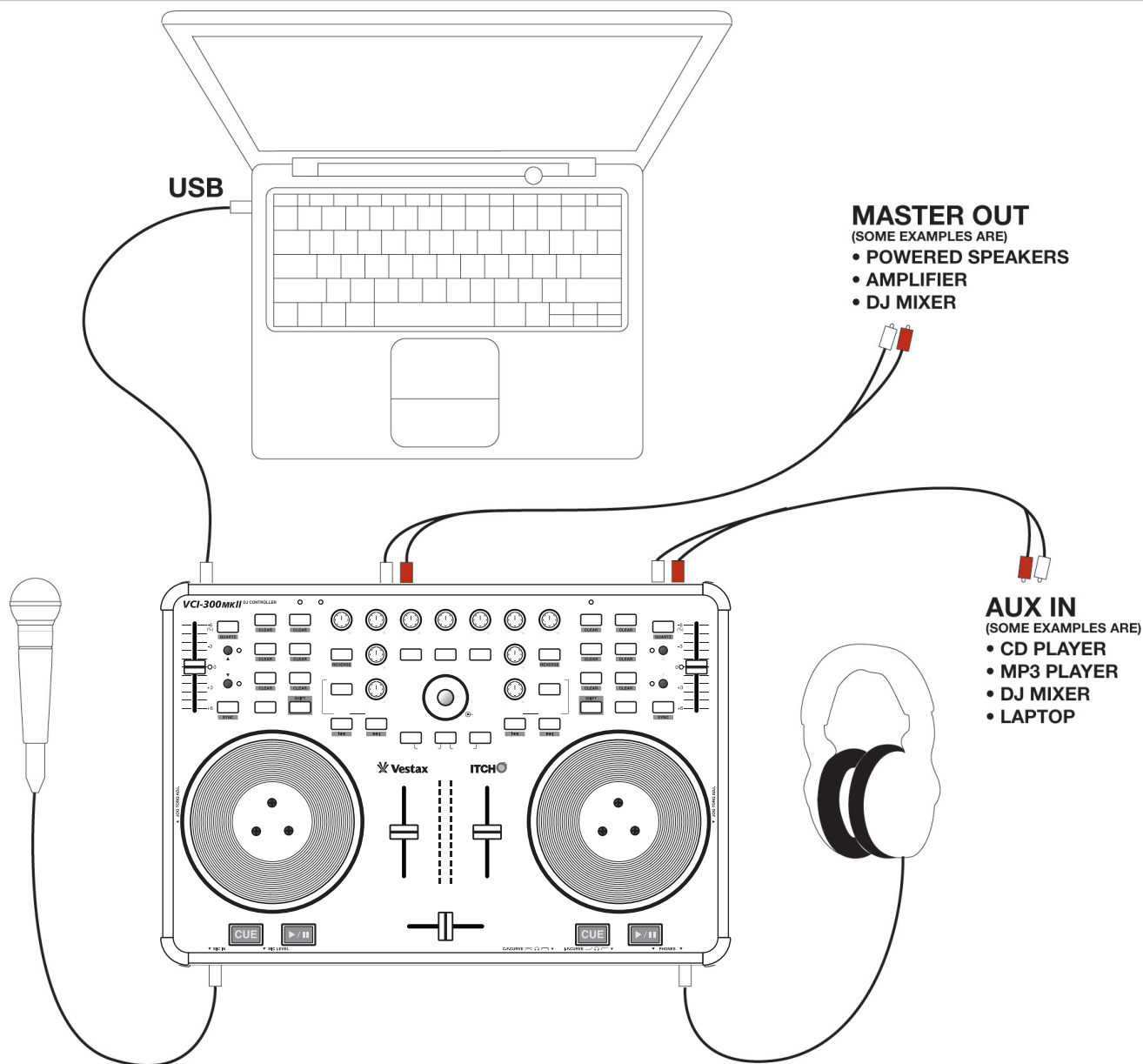
MAC: ITCH はアプリケーション・フォルダにインストールされます

WINDOWS XP: スタート→プログラム→ITCH WINDOWS

VISTA: ウィンドウズ・メニュー→すべてのプログラム→Serato→ITCH

Mac OS X で ITCH を起動するときはアプリケーション・フォルダ内の ITCH アイコンをダブル・クリックしてください。Windows で ITCH を起動するときはスタート・メニュー内の ITCH アイコンをクリックして下さい。ITCH が起動すると自動的に VCI-300MKII を検知します。

## 接続



### USB

VCI-300MK II はお使いのパソコンから USB により電源が供給されます。通常の使用ではアダプターを接続する必要ありません。VCI-300MK II とパソコンの接続は同梱の USB ケーブル 1 本のみで行います。VCI-300MK II リアパネルの「POWER SOURCE SELECTION」スイッチが「USB」に設定されていることをご確認ください。

USB ハブ、又は USB 製品を複数使用されている場合、パソコンからの電源供給量が足りなくなるため別売りの電源アダプターを接続して電源を供給してください。また、クラブなどライブで使用する場合もアダプターを接続することによりパソコンを変える間、AUX 入力を使用して音出しが可能です。VCI-300MK II リアパネルの「POWER SOURCE SELECTION」スイッチが「ADAPTOR」に設定されていることをご確認ください。

VCI-300MK II は Mac/Windows へのドライバのインストールが必要ありません。VCI-300MK II をお使いのパソコンに接続し、リアパネルの電源スイッチを ON にします。認識後 4 チャンネル・オーディオ・デバイス及び MIDI デバイスとして表示されます。

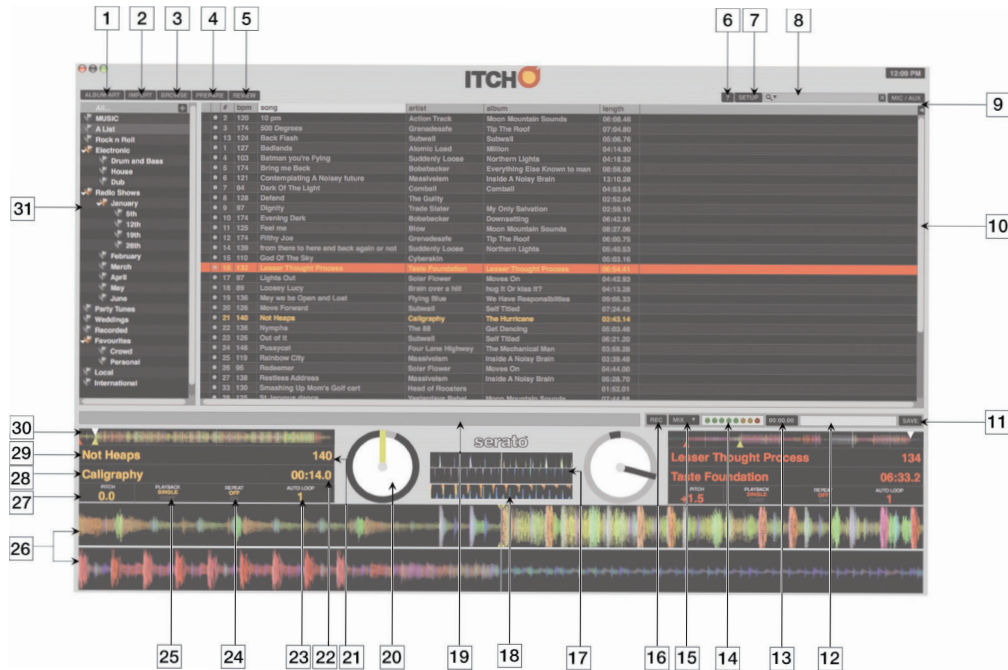
### スピーカー

VCI-300MK II にはフォン・ジャックと RCA の 2 系統の出力があり、パワード・スピーカー、ステレオ、P A、ミキサーにそのまま接続できます。接続する際は VCI-300MK II 及び接続機器のマスター・ボリュームを下げてください。

### ヘッドホン

VCI-300MK II フロントパネルの右側にあるフォンジャックとミニフォンジャックにヘッドホンを接続します。ヘッドホン内の音量は Monitor Level(モニター・レベル)ノブで調整できます。ヘッドホンを接続する際はモニター音量を下げてください。

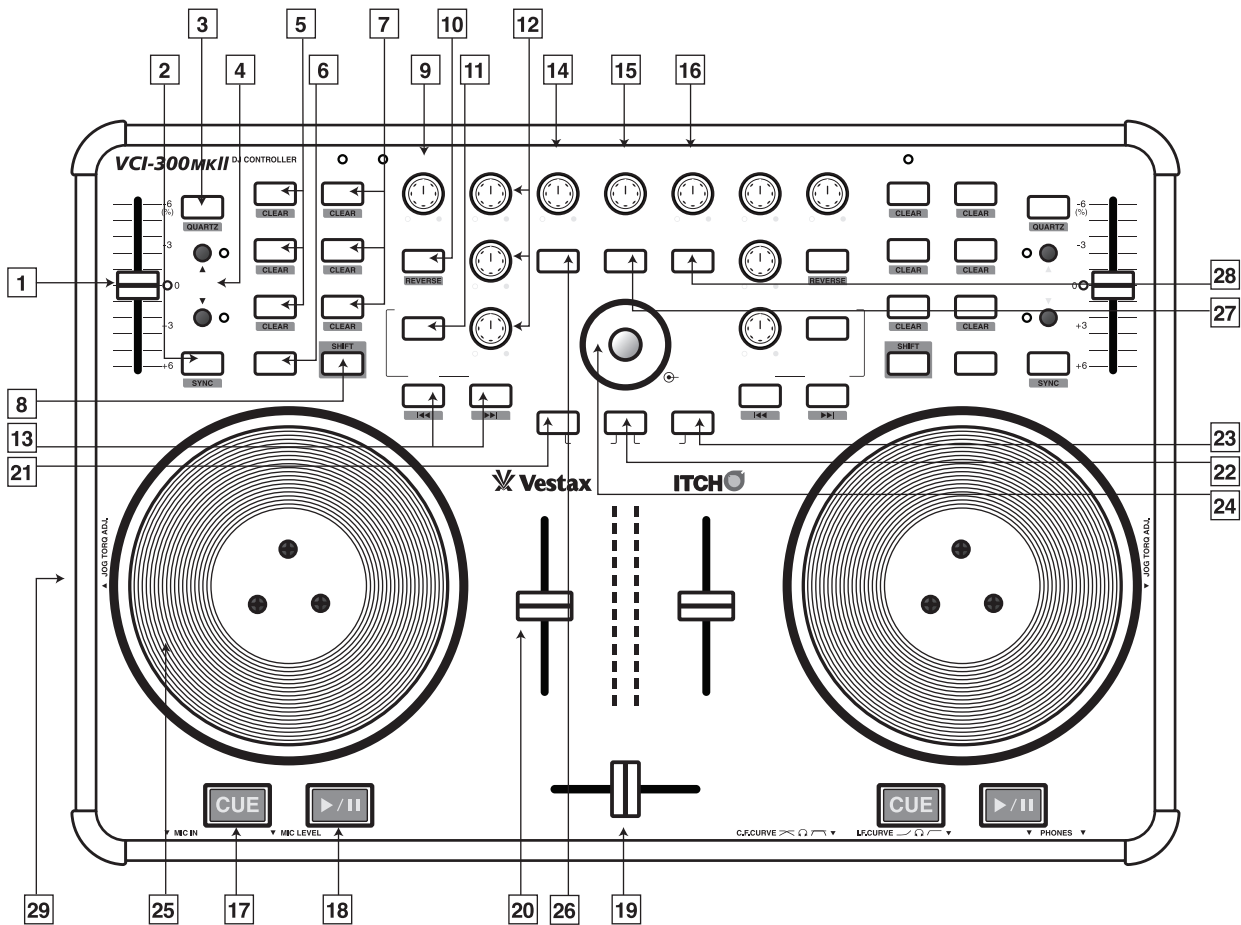
## ソフトウェア概要



NO.	KEY	FUNCTION
01	ALBUM ART	アルバム・アート表示/非表示の選択
02	IMPORT	インポート・パネル(HDD内検索)の表示・非表示
03	BROWSE	ブラウザ・パネル(ジャンル、BPM等でトラック検索)の表示/非表示
04	PREPARE	PREPARE CRATE (再生準備リスト)の表示/非表示を選択
05	REVIEW	REVIEW CRATE(再生済トラック・リスト)の表示/非表示を選択
06	TOOLTIPS	ヘルプ・ディスプレイの有効/無効を選択
07	SETUP	セットアップ画面を表示
08	SEARCH	入力した条件に合わせてライブラリ内を検索します
09	MIC/AUX	MIC/AUXのモニター/ミックス入力情報の表示/非表示を選択
10	LIBRARY	トラック一覧を表示
11	SAVE BUTTON	レコーディングされたデータを保存します
12	RECORDING FILENAME FIELD	レコーディングしたデータのファイル名を入力します
13	RECORDING TIMER	レコーディング用の時間経過を表示します
14	RECORDING METER	レコーディング入力音源のピーク・レベルを表示します
15	RECORD SOURCE SELECTOR	レコーディングをする入力先を選択します
16	RECORD BUTTON	レコーディングのスタート/ストップ
17	BEAT MATCH DISPLAY	トラックのビート(通常はドラム音)の位置を表示します
18	TEMPO MATCH DISPLAY	再生している両トラックのテンポを波形で表示します
19	STATUS BAR	選択しているアイテムの情報を表示します
20	VIRTUAL DECK	トラックの再生に合わせて回転します
21	BPM FIELD / TAP BUTTON	トラックのBPM値を表示します。クリックすることによりBPMをTAPして設定できます
22	TRACK TIME DISPLAY	トラックの再生ポイントを表示します
23	AUTO LOOP VALUE	オート・ループの設定拍数を表示します
24	REPEAT	リピート・モードのON/OFFを選択
25	PLAYBACK MODE	再生モードを選択します。シングル・モードではトラックの再生が終わるとデッキが停止します。連続モードではトラックの再生が終わるとリスト内の次のトラックが自動的に再生されます。
26	WAVEFORM	トラックの(再生ポイントの)波形データを表示します
27	PITCH	0を基準値としたピッチの差異値を表示します
28	ARTIST NAME	トラックのアーティスト名を表示します
29	TRACK NAME	トラックのタイトルを表示します
30	TRACK OVERVIEW	トラック全体の波形データを表示します
31	CRATE LIST	クレートの一覧を表示します



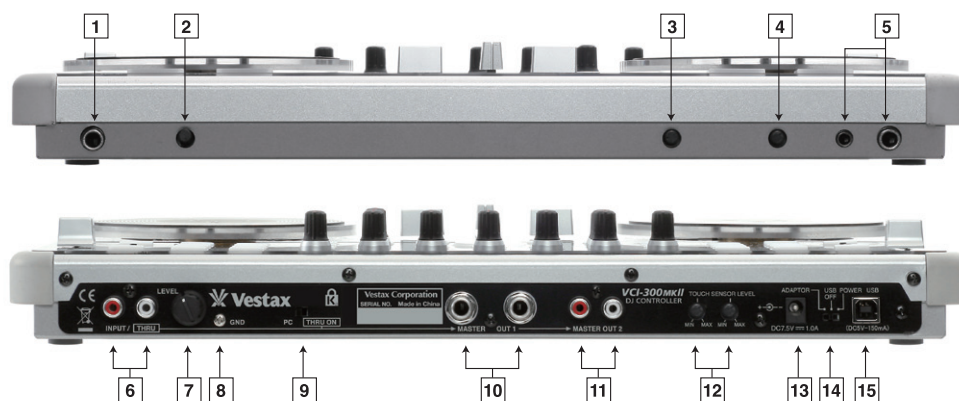
## トップパネル部の名称と機能



NO.	KEY	FUNCTION
01	ピッチ・フェーダー	トラックのピッチを調整します(ピッチシフトボタンで指定したセンターピッチ値から±6%~可変)
02	AUTO TEMPOボタン	自動的に反対側のデッキで再生しているトラックとテンポを合わせます
03	SHIFT機能: BEATSYNC	トラックのビート(ドラム音)の位置を反対側のデッキで再生しているトラックのビート(ドラム音)の位置に合わせます
03	KEY LOCKボタン	トラックのキーを変えずにテンポのみを変えるようにします
04	SHIFT機能: QUARTZLOCK	トラックのピッチを±0%に固定し、テンポフェーダー操作を無効にします
04	PITCH SHIFTボタン	ピッチ調整範囲を上下にシフト(12%)します。例えば上のPITCH SHIFTボタンを押した場合調整範囲が原音の+6%から+18%の間になります。上下のボタンを同時に押すと元の±6%に戻ります
05	CUE/INボタン	ボタン(1~3)を押すとCUEポイントをセットします。もう一度押すとセットしたCUEポイントより再生が始まります
06	SHIFT機能: CUE/INポイント削除	セットされているCUEポイントを削除します
06	SCRATCHボタン	ブラッターをスクラッチ・モードに切換えます
07	OUT/LOOPボタン	CUEポイントがセットされてるときに押すとループのエンド・ポイントをセットします。もう一度押されるまでCUEポイントとエンド・ポイントの間がループ再生されます。
08	SHIFT機能: OUT/LOOPポイント削除	ループのエンド・ポイントを削除します
08	SHIFTボタン	他のボタンと併用してSHIFT機能を呼び出します。各ボタンのSHIFT機能はグレーの網掛けで表記されています
09	TRIMボリューム	EQとチャンネル・フェーダーを通る前の信号音量を調整します
10	CENSORボタン	ボタンを押している間トラックがリバース再生されます。ボタンを離すとボタンを押さなかった場合に進んでいた位置からトラックが再生されます。(リバース再生された秒数分がボタンを押した位置から早送りされます)
11	SHIFT機能: リバース再生	トラックの再生方向を変えます
11	AUTOLOOPボタン	トラックのBPMに合わせて、定まった拍数分のループを自動的に作成します。(BPM計測済みの場合のみ)
12	アイソレーター・ボリューム	HI、MID、LOWの各周波数帯域を-∞~+6dB(12dB)の範囲で調整します
13	HALF/DOUBLEボタン	オート・ループのループ拍数を設定します。オート・ループ有効時に各ボタンを押すと再生されているループを1/2又は倍に変えます
14	SHIFT機能: 前・次スキップ	リスト内の前・次トラックにスキップします
14	MASTERボリューム	VCI-300MKIIから出力される音量を調整します。ITCH起動前は下げてください
15	MONITOR SELECTボリューム	ヘッドホン内のマスターとCUEの出力割合を調整します

NO.	KEY	FUNCTION
16	MONITOR VOLUME	ヘッドホンの出力音量を調整します
17	CUE	再生が一時停止されると一時 CUE ポイントがボタンにセットされます。再生中に押すと一時 CUE ポイントに戻ります
18	PLAY/PAUSE	再生を開始・一時停止させます
19	CROSSFADER	左右のチャンネルを切替えます
20	CHANNEL FADERS	各チャンネルのトラック音量を調整します
21	PFL A	左トラックをヘッドホンに送ります。
	SCROLL+PFL A	選択トラックを左デッキにロードします
	SCROLL+PFL A×2 度押し	右デッキで再生中のトラックが左デッキにロードされます
22	SCROLL	プлатターを使用してトラック・リストをスクロールすることができます
23	PFL B	右トラックをヘッドホンに送ります。
	SCROLL+PFL B	選択トラックを右デッキにロードします
	SCROLL+PFL B×2 度押し	左デッキで再生中のトラックが右デッキにロードされます
24	NAVIGATION	ライブラリ内のカーソル移動に使用します
25	PLATTER	起動時はトラックのピッチを小範囲で調整します。
	SHIFT 機能：早送り・巻戻し	トラックを高速で巻戻し、早送りできます
26	CRATES	カーソルを CRATE セクションに移動させます
	SHIFT + CRATES	選択されている CRATE 内のトラック BPM を元に並び替えます
27	FILES	インポート・パネルを開いてロードしたいトラックを選択できます
	SHIFT + FILES	選択されている CRATE 内のトラック名を元に並び替えます
28	BROWSE	ブラウズ・パネルを開いてリストをジャンル、BPM、アーティスト、アルバムで分類することができます
	SHIFT + BROWSE	選択されている CRATE 内のトラックをアーティスト別に並び替えます
29	JOG TORQUE ADJUST KNOB	プлатターのトルク（回すときの軽さ）を調整します

## フロント部とリアパネル部の名称と機能



NO.	KEY	FUNCTION
01	MIC IN	マイク用の入力端子です。MIC の音声信号は ITCH を通さず直接 MASTER OUT に出力します
02	MIC GAIN	MIC IN 端子の入力レベルを調整します
03	CROSSFADER CURVE	クロスフェーダーのカーブ特性を調整します。右に回すとチャンネル間のフェードイン・アウトがシャープになり、左に回すとなだらかになります
04	CHANNEL FADER CURVE	チャンネル・フェーダーのカーブ特性を構成します。右に回すとフェーダーの下端がシャープになりフェーダーの上端まで音量 MAX に近い状態になります。左に回すとした端からのフェイドがなだらかになり上端に達すると音量が MAX になります。
05	HEADPHONE OUT	ヘッドホン用フォン・ジャック入力端子・ミニジャック入力端子
06	AUX IN	RCA 入力端子。外部ライン機器の出力端子と接続します。AUX の音声信号は ITCH を通さず直接 MASTER OUT に出力します
07	AUX GAIN	AUX IN 端子の入力レベルを調整します
08	GROUND POST	アース接続を必要とする外部ライン機器と接続します
09	THRU SWITCH	アプリケーションに入力された AUX と MIC の音声信号は、アプリケーションからは出力されず、ダイレクトに MASTER OUT に出力されて、レイテンシーをなくします。
10	MASTER OUT JACK	マスター出力フォン端子
11	MASTER OUT RCA	マスター出力 RCA 端子
12	PLATTER SENSITIVITY CONTROLS	プлатターのタッチセンサー感度を調整します
13	DC POWER INPUT	別売りの 7.5V DC 1.0A 電源アダプターを接続します
14	POWER SOURCE SELECTION	VCI-300MKII の電源供給をアダプター、USB、OFF から選択します
15	USB SOCKET	お使いのパソコンの USB 端子に接続します

## 音楽のインポート

### ライブラリにファイルを追加する

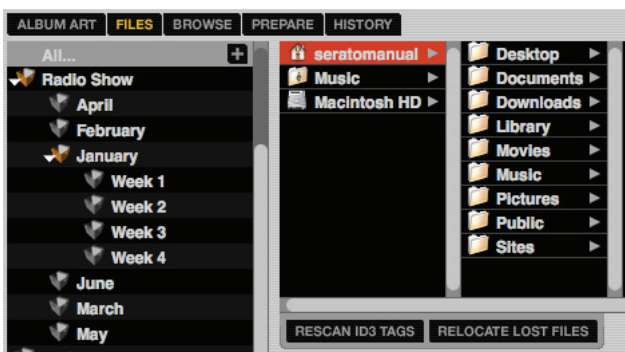
ITCHのライブラリへファイルを追加するにはいくつか方法があります。

VCI-300MKIIのFILESボタンを押すとハードディスク内のロード可能なファイル一覧が表示されます。VCI-300MKII、キーボード、マウスのいずれかでファイルを選択できます。デッキにトラックをロードすると自動的にライブラリに追加されます。

トラックをITCH上にドラッグして直接ライブラリに追加またはデッキにロードすることができます。

フォルダをCRATE欄にドラッグ&ドロップすると簡単にCRATEが作成できます。

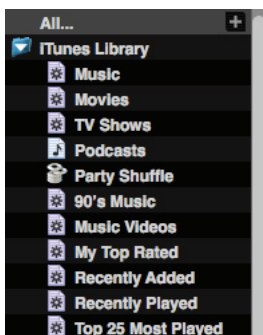
※ライブラリに追加したファイルを削除するには、該当ファイルを選択して、Command + Deleteキー (Macintosh) / Ctrl + Deleteキー (Windows) を押してください。



お使いのコンピューターに接続されている外部ハードディスクもファイル・パネルに表示されます。内蔵ハードディスクからファイルをインポートするのと同じように外部ハードディスクからもファイルをインポートすることができます。ITCH起動時にインポートされたファイルが保存されている外部ハードディスクが接続されていない場合、そのファイルはライブラリに表示されません。外部ハードディスク内ファイルのライブラリ情報はそのハードディスクに保存されています。従って、外部ハードディスク内のファイルをライブラリに追加し、別のITCHがインストールされているコンピューターに同じハードディスクに接続した場合もCRATEやトラックがライブラリ内に表示されます。

### iTunes™ライブラリを表示する

iTunesのライブラリをITCH内でインポートできます。インポートを有効にするにはセットアップメニュー、Libraryタブ内の「Show iTunes Library」にチェック・マークをつけてください。



※iTunesライブラリはiTunesライブラリ・アイコンをクリックすることでたたくことができます。

### CDトラックを読み込む

ITCHを使ってCDトラックのインポートはできません。音楽再生ソフトを使ってCDのトラックをITCHで再生できるファイルにインポート・変換してください。高音質で低CPU使用率の320kbps・MP3ファイルがおすすめです。また、CDをお使いのパソコンのCD-ROMドライブ、DVDドライブから直接ITCH上で再生することもできますが、ドライブの速度やコンピューターの処理能力により再生のパフォーマンスが低下する場合がございます。

CDを直接再生されるより、インポートして再生されることをお勧めします。

### 再生できるファイルの種類

- MP3
- OGG
- AAC
- ALAC
- AIF
- WAV
- WL.MP3

可変・不変ビットレート・ファイル共に再生可能です。DRM(Digital Rights Management = デジタル著作権管理) 保護されているファイルはITCHで再生できません。

## ファイルを準備する

### ファイルを解析する

#### ANALYZE FILES

ITCH 上で音楽を再生する前に、ファイルを解析されることをおすすめします。この機能を使うとトラックの波形作成、破損・エラー検知が行われ、設定がなされている場合は BPM カウントも行われます。

### ファイルの解析を行う

ファイルの解析を行う際には VCI-300MKII の接続を解除してください。ITCH 画面右下に「ANALYZE FILES」ボタンを押すとライブラリ内のトラックすべてが解析されます。

#### ANALYZE FILES Set auto bpm range 88 - 175 ▼

個別のトラック、フォルダ、CRATE、ファイルなどを直接ボタンにドラッグ & ドロップして解析を行うこともできます。

ITCH に全ファイルの再解析を行わせる場合は、「Ctrl」キーを押しながら「ANALYZE FILES」ボタンを押してください。またすでに解析されたファイル、フォルダ、CRATE をボタンにドラッグ & ドロップして再解析を行うことができます。

### 破損 / エラーファイルについて



破損 / エラーファイルがライブラリ内にある場合、マウスのカーソルでステータス・アイコンに触れるとどのような症状が表示されます。

症状については 24 ページをご参照ください

### オート BPM を設定する

#### Set auto bpm

「SET AUTO BPM」有効の場合、ファイル解析時にトラックの BPM 値も解析されます。ITCH が解析した BPM 情報は ITCH が正確だと判断したとき、ライブラリ保存時にファイルに書き込まれます。「range」メニュー内で BPM 解析範囲を指定することで間違った BPM が解析されることを避けることができます。

例：BPM120～130の間のハウス・トラックがあったとした場合、「range」内の範囲を「68-135」にし上下限を設定します。こうすることにより ITCH が 120 BPM のファイルを解析するとき、ハーフの 60BPM ではなく正確に 120BPM だと解析することができます。(60BPM は設定されている下限の 68BPM より低いため)

※BPM カウントがファイル解析のプロセスのひとつであるため、すでに作成されたトラックには適用されません。BPM 値を再カウントする場合は、「range」の値を変更してください。

### TRACK GAIN (トラック・ゲイン)



ライブラリ内の各トラックの音量を調整します。調整されたゲイン値はファイルに保存され、デッキへのロード時に反映されます。レベルメーターの値は VCI-300MKII に送られる調整後の個別ゲイン値とマスター値をお知らせします。

### OFFLINE PLAYER (オフライン・プレイヤー)



オフライン・プレイヤーは VCI-300MKII が接続されていない場合に表示することができ、デフォルトのオーディオ・デバイスから出力されます。オフライン・プレイヤーにドラッグ & ドロップするか、「shift」+「←」コマンドでトラックをロードできます。再生中のトラックが終了すると、プレイリスト内の次のトラックが自動的に再生されます。

CRATE の作成、トラックの試聴、CUE 設定、LOOP 設定を行う際にオフライン・プレイヤーを使用すると便利です。

## ライブラリの検索

ライブラリには ITCH に追加された音楽ファイルがすべて収められています。ITCH のライブラリでは簡単にトラックを検索・管理することができます。

※「Ctrl」+「+」、 「Ctrl」+「-」 コマンドでライブラリのテキスト・サイズを変更できます

### VCI-300MK II を操作して検索する

VCI-300mk II の NAVIGATION キーの UP と DOWN でカーソルがライブラリ内を上下に移動し、BACK と FWD でブラウザ内の各項目間を移動します。センターの TAB ボタンを押すとカーソルを操作できるブラウザが切り替わります。

### マウスとキーボード

キーボードの矢印キーで VCI-300MK II の NAVIGATION キーと同じ操作ができます。またマウスで画面内の各項目を選択できます。

### プラッターでのスクロール

SCROLL ボタンを押すとプラッターを回してライブラリ内を上下にスクロールすることができます。SCROLL ボタンをもう一度押すと解除されます。

※プラッター・スクロールは選択されているパネルに適用されます。(例：HISTORY パネルが選択されている場合は HISTORY パネル内でスクロールします) パネルが選択されていない場合はライブラリに適用されます。

### トラックを検索する



メイン・ライブラリ画面右上のサーチ・ボックスに検索したいトラック名を入力すると検索結果がライブラリに表示されます。

※Ctrl キー + f でサーチ・ボックスにカーソルが飛びます。また、このコマンドを使用すると表示していた CRATE やプレイリストからメイン・ライブラリへ戻ります。CRATE やプレイリストをクリックするとサーチ・ボックス内のテキストが削除されます。サーチ・ボックス左の虫眼鏡アイコンをクリックするとドロップ・メニューが表示され、ライブラリ項目別（アーティスト、アルバム等）に検索することができます。Esc キー又はサーチ・ボックス右の × アイコンをクリックすると入力テキストが削除され、メイン・ライブラリ画面に戻ります。

### 項目でトラックを検索する

BROWSE ボタンを押してブラウザ・パネルを開きます。

ブラウザ・パネル内は NAVIGATION キーを使って選択します。ブラウザ・パネルはメイン・ライブラリの上に開き、ジャンル、BPM、アーティスト、アルバムの項目でソートしてトラックを検索します。

ジャンル、BPM、アーティスト、アルバムのいずれかを選択するとメイン・ライブラリ画面内に検索結果が表示されます。各フィルターは NAVIGATION キーの左右、キーボード、マウスで切り換えられます。

### ライブラリのアイコンについて

ライブラリの一番左の欄にトラックのステータスがアイコンで表示されます。



MP3 ファイルが破損しています。再エンコードする必要があります。



このトラックは iTunes ライブラリからインポートされたファイルです。



このトラックは iTunes ライブラリからインポートされ、MP3 ファイルが破損しています。再エンコードする必要があります。



ファイルが見つかりません。ファイル名が変わっているか移動されています。



iTunes ライブラリからインポートを試みたがファイルが見つかりません。



読み込み専用ファイルです。

破損 / エラーファイルについては 24 ページをご参照ください。

### 準備ウィンドウ

準備ウィンドウは予め再生したいトラックを選択し、仮置きしておくためのウィンドウです。

画面左上の PREPARE ボタンを押して準備ウィンドウを開きます。トラック又は CRATE をウィンドウか PREPARE ボタンにドラッグ & ドロップします。トラックの再生が終わるとそのトラックは準備ウィンドウから削除されます。また、ITCH を終了すると準備ウィンドウに残っているトラックは削除されます。

## 操作の仕方

### デッキにトラックをロードする

ライブラリからトラックを選択後、VCI-300MKII、マウス、キーボードのいずれかでデッキにロードします。

### VCI-300MKIIでロード

トラックを選択した状態で  
 SCROLL + PFL A = 左デッキにロード  
 SCROLL + PFL B = 右デッキにロード

### キーボードでロード

トラックを選択した状態で  
 Shift + ← = 左デッキにロード  
 Shift + → = 右デッキにロード

### マウスでロード

トラックをマウスで選択しデッキにドラッグ&ドロップします

※デッキからトラックをアン・ロード： キーボードで「Shift」+「Alt」+「←」/「→」コマンド

### トラックを再生する

VCI-300MKIIの再生・一時停止ボタンを押すとトラックの頭から再生が始まります。再び押すとトラックが押したときの再生位置で一時停止状態になります。さらにもう一度押すと一時停止位置から再生されます。

### TRACK SCROLL (トラック・スクロール)

SHIFT ボタンを押しながらプлатターを動かすと、トラック・スクロールが有効になります。トラック内を高速でスクロールすることが可能になります。

### ゲイン調整

トラックのゲイン・レベルを VCI-300MKII の TRIM で調整します。トラック内で音量が一番大きいときに、LED メーターがわずかに赤く光るくらいの位置に調整します。両デッキのトラックを同等のレベルに調整することでミックス時のイコライザーとチャンネル・フェーダーの調整がしやすくなります。

### アイソレーター調整

VCI-300MKIIではHIGH(高)、MID(中)、LOW(低)、の各周波数帯域を調整できます。ノブを左に回しきった状態で各周波数帯域をカットし、中央で±0、右に回しきると+6dB/+12dBブーストします(最大値はSETUP内のMIXERメニューで選択できます)。トラックによってマスタリングされた音に違いがあるため、イコライザーを調整して両トラックをより近い状態にし、ミックスしやすくします。通常の調整において、各周波数帯域を“絞る”のがセオリーで、ブーストは控えめにします。例えば、MID(中域周波数)が強く出ているトラックを再生している場合、HIGHとLOWをブーストするよりMIDを絞った方が音にまとまりが得られます。また、スピーカー・システムや部屋・会場によって周波数特性が異なるためトラックだけでなく再生している場所も考慮して調整する必要があります。

### KEY LOCK (キー・ロック)

通常トラックのテンポを変えると、ピッチも変わり音のキーが変化します。KEY LOCK有効時はピッチが影響されずにテンポだけが変わります。トラックをミックスするときに音が外れるのを回避します。KEY LOCK有効中にスクラッチを行うと、スクラッチ音に影響を与えるため自動的に解除されます。

### QUARTZ LOCK (クォーツ・ロック)

ピッチが±0に固定され、ピッチ・シフトとピッチ・フェーダーの操作が無効になります。QUARTZ LOCKを解除すると元のピッチ設定(変更されている場合)に戻ります。

### REVERSE PLAY (リバース・プレイ)

トラックの一部のマスキングやエフェクトとして使用します。Sensor ボタンを押している間トラックが逆再生されます。ボタンを離すとボタンを押さなかった場合に進んでいた位置からトラックが再生されます。(逆再生された秒数分、ボタンを押した位置から早送りされる)また、SHIFT+SENSORでリバース再生を固定し、ボタンを離してもそのままリバース再生を続けさせられます。もう一度SHIFT+SENSORを押すと解除され、上記と同様に進んだ位置からトラックが再生されます。

## プлатターのコントロール

VCI-300MKIIにはタッチ・センサー式プлатターが搭載されており、より正確なコントロールが可能となっております。リアパネル部にはタッチ・センサーの感度を調整するノブが二つあり、好みに応じた設定に調整できます。

VCI-300MKIIを操作される前に感度調整を行い、プлатターが正確に反応するか確認することをおすすめします。

### 感度調整



VCI-300MKIIリアパネルのタッチ・センサー感度調整ノブをゆっく回します。プлатターはトラック再生時に青色、接触時やスクラッチ時には赤色に点灯します。

感度調整ノブが時計まわり(右)にいっぱい回されたときにプлатターの感度がもっとも高くなり、一度プлатターに触れて話すと非接触時でも赤く点灯しトラックは停止状態になります。感度調整ノブが反時計回り(左)にいっぱい回されたときは、プлатターの感度がもっとも低くなり、触れても反応しません。

プлатター操作がすべて反応するように感度調整ノブを調整してください。

## 基本操作画面

### VIRTUAL DECK (バーチャル・デッキ)



バーチャル・デッキはトラックの再生位置とスピードを表示します。デッキにトラックがロードされると、デッキの色が黒から白に変わり、回転針が黒に変わります。緑の円はトラックの長さを表すもので、回転針で再生位置を知らせます。またトラックの終了 20 秒前になると円が点滅しトラックの終わりを知らせます。

#### トラック表示

トラックがロードされるとトラック・タイトル・バーにトラック名、アーティスト、長さ、BPM が表示されます。ファイルにこれらの情報が含まれていない場合は表示されません。その下の段にピッチ、プレイバック、リピート、オート・ループが表示されます。

トラックの時間は分秒で表示されます。BPM はピッチ・フェーダーの位置に応じて算出された値が表示されます。

ピッチ (PITCH) も同じくピッチ・フェーダーの位置に応じた値が表示されます。

プレイバック (PLAYBACK) は選択されているプレイ・バックモードを表示します。「SINGLE」時はトラックの再生が終了すると停止し、無音となります。「CONT」時はトラックの再生が終了するとプレイリスト内の次の曲がロードされ再生が続きます。

「REPEAT」設定時はトラックの再生が終わると開始位置にもどり繰り返し再生されます。

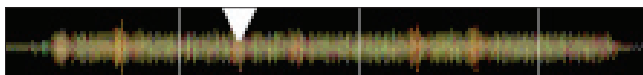
オート・ループ (AUTO LOOP) は現在のループ設定が表示されます。ループについての詳細は 16 ページをご参照下さい。

### TAP TEMPO (タップ・テンポ)

トラックに BPM 情報が含まれていない場合、通常 BPM が表示される欄に TAP テンポ・ボックスが表示されます。キーボードの「alt」+「スペース」コマンドを入力すると左側デッキの TAP 入力が有効になります。(右側デッキは「alt」+「スペース×2」) スペース・バーをビートに合わせて叩くと BPM が計算されます。最初のビートのあとはダブル、ハーフ、小節はじめ、などの叩き方が可能です。レンジは最初の 2 打を元に設定されるので、それに続く TAP を四分音符、二分音符、全音符などトラックに合うと思う安定したリズムで行ってください。キーボードの「Esc」キーを押すと BPM はリセットされ、「Enter」を押すとトラックに BPM 情報が書き込まれます。また、スペース・キーの代わりにマウスで TAP テンポ・ボックスを選択して、クリックで TAP することもできます。

※BPM を TAP で設定する際はピッチ・フェーダーを「0」に戻す必要はありません。ITCH が補正を行います。

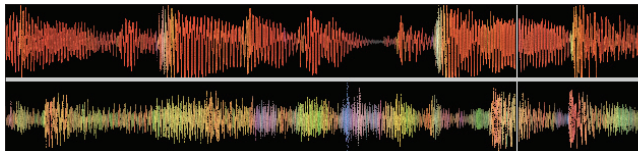
### TRACK OVERVIEW (トラック・オーバービュー) 表示



デッキ上部 (トラック名の上) に表示される TRACK OVERVIEW ではトラック全体の音声波形と三角マーク (▽) でトラック内の再生ポイントを確認できます。トラック内の各周波数帯域は音声波形で三色に表示されており、高域 (HIGH) は青、中域 (MID) は緑、低域 (LOW) は赤として表示されます。また音声波形内をクリックするとそのポイントに飛ぶことができます。TRACK OVERVIEW 内の灰色の縦線はトラックの長さを示しており、細かい縦線は 1 分おきに、太い縦線は 5 分おきに配置されます。トラックを解析していない場合、デッキにトラックをロードすると自動的に TRACK OVERVIEW が表示されます。

ロードする前に解析することをおすすめします。

### MAIN WAVEFORM (メイン・ウェーブフォーム) 表示



この波形ディスプレイは各トラックの音声波形をズームして表示します。また、TRACK OVERVIEW と同様トラック内の各周波数帯域が三色で表示されており、高域 (HIGH) は青、中域 (MID) は緑、低域 (LOW) は赤として表示されます。また音声波形内をクリックするとそのポイントに飛ぶことができます。Ctrl キーを押しながら波形をクリックするとメイン波形は再生中のポイントを中心に表示します。

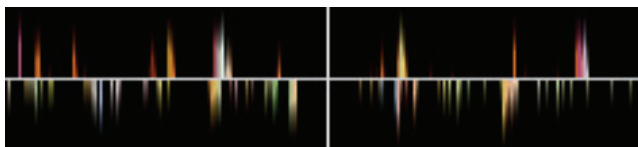
※「+」、「-」キーを使用するとズームイン、ズームアウトできます。

### TEMPO MATCH (テンポ・マッチ) 表示



両バーチャル・デッキの間に表示されている小型波形ディスプレイの三段目は両トラックのビートを合わせるのに適しています。上部のオレンジの波形が左側のトラックのテンポを、下部のブルーの波形が右側のトラックのテンポを表します。ビートが合わせられると、上部と下部の波形ポイントの位置が一致します。このディスプレイは各トラックのテンポを小節ごとに表しており、トラックのビートのタイミングを表しているわけではありません。ビートが同期していなくても、両トラックのテンポが一致していればピークは一致して表示されます。

### BEAT MATCH (ビート・マッチ) 表示



両バーチャル・デッキの間に表示されている小型波形ディスプレイの上二段はトラック内のビートの位置を表示します。2つのトラックのダウンビート (表拍) を合わせるのに適しています。両トラックのビートが一致するとディスプレイ内のピークの位置が一致します。

### 各波形ディスプレイの使用例：

以下の例では再生中のトラックが左のデッキ、ミックスするトラックが右のデッキです。

右デッキのトラックを再生。再生後テンポ・マッチ・ディスプレイに青色のピークが表示されます。

テンポ・マッチ・ディスプレイの青色のピークがオレンジ色のピークと重なるまでピッチを調整します。ピークが一致するとテンポが一致します。

ビート・マッチ・ディスプレイのピークを合わせます。メイン波形に表示される波形の色を見ながら合わせてください。赤色はキック (バスドラム)、青色と緑色はスネアを表します。

この手順で完璧なミックスが行えるわけではありませんが、ビートマッチングの作業効率がアップします

## CUE ポイント

VCI-300mkIIにはCUE/LOOPスロットが左右に3つずつあります。任意のCUE/INボタンを押すとボタンが点灯しCUEポイントがセットされます。SHIFTボタンを押しながらCUE/INボタンを押すとCUEポイントが削除されます。

一度CUEポイントをセットすると、ボタンを押すたびにそのCUEポイントに戻ります。トラックが一時停止中はCUE/INボタンが押されている間だけCUEポイントからトラックを再生し、ボタンを離すとCUEポイントに戻り再び一時停止状態になります。また、キーボードの数字キーを押してCUEポイントに飛ぶことができます。1～3が左デッキ、6～8が右デッキのCUEポイントです。トラック再生中にキーボードでCUEポイントに飛ぶと再生せずに、連続でボタンを押したように連続音を発します。

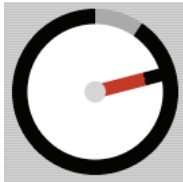
CUEポイントの連続音レベル(速さ)はご使用のOSのキーボード設定によって変化します。

Windows: コントロールパネル→キーボード→「表示の間隔」

Mac: システム環境設定→キーボードとマウス→「キーのリピート速度」

設定されたCUEポイントはファイルに書き込まれ、次回ロード時に反映されます。ファイル場所やファイル名が変更されてもCUEポイントの情報は失われません。

### CUE POINT STATUS (キュー・ポイント・ステータス)



CUEポイントがセットされるとバーチャル・デッキの針が12時の位置を指し、色が変わります。CUEポイントを過ぎると針の色の割合がひと回転につき1/5ずつ少なくなります。再びCUEポイントに近づくとき色の割合が1/5ずつ増えます。針の色は赤、黄、緑とCUEポイントがセットされた順番で決まります。※CUE/INボタンのLEDと色が異なるのでご注意ください。

### 仮CUEポイント

ファイルに保存されない仮CUEポイントをセットすることができます。ミックス中に任意のポイントに戻りたい場合などに使用します。トラックを一時停止中にプッラーを回転させて仮CUEポイント位置を決めます。

仮CUEポイントがセットされていない状態で一時停止中にCUEボタンを押すと、その一時停止位置に仮CUEポイントがセットされます。仮CUEポイントのセット後、一時停止中にCUEボタンを押すと仮CUEポイントからトラックが再生され、CUEボタンを離すと仮CUEポイントに戻り一時停止状態になります。

CUEボタンを押している間に再生・一時停止ボタンを押すと、両ボタンを離したときそのまま再生が続きます。

トラックの再生中にCUEボタンを押すと仮CUEポイントに飛び一時停止状態になります。仮CUEポイントを変更するには既存のポイントと違う位置でトラックを一時停止し、CUEボタンを押します。

仮CUEポイントはトラック内のプリセット・ポイントから繰り返しスタートさせるのに最適です。正確に合わせるまでに数回練習することができます。

## ループ

CUEポイントをいくつかセットした後、OUTポイントをセットすることでループを作ることができます。CUE/INボタンと対のOUT/LOOPボタンを押すとOUTポイントがセットされ、CUE/INボタンとOUT/LOOPボタンが点灯し、ループがスタートします。OUT/LOOPボタンをもう一度押すとループ再生が解除されます。SHIFTボタンを押しながらOUT/LOOPボタンを押すとOUTポイントが削除されます。また、OUT/LOOPボタンを押しながらプッラーを回すとOUTポイントの位置を調整することができます。OUT/LOOPボタンを押しながらCUE/INボタンを押すと再生位置がOUTポイントに飛びループが解除されます。ループの範囲はメイン波形で緑色に表示されます。

### AUTO LOOPING (オート・ループ)

オート・ループはトラックのBPMとマッチしたループをつくることができ、ミックス中にすばやくループをつくるのに適しています。ループの長さはトラックのBPMに合わせて1/32拍～32拍まで選択できます(トラックにBPMタグがセットされていないとオート・ループは実行できません)。ループの長さの値はトラック時間の下に表示され、HALFとDOUBLEボタンで選択できます。AUTO LOOPボタンを押すと設定されている長さで再生位置から一番近いビートを起点にループがつくられます。ループ再生中でもHALFとDOUBLEボタンでループの長さが変更でき、AUTO LOOPボタンをもう一度押すとループが解除されます。

### LOOP ROLL (ループ・ロール)

ループ・ロールはオート・ループと同じようにループをつくりませんが、ループを解除すると再生位置がループを再生した分の秒数位置から始まります(リバース再生の効果と同様)。ループの長さは1/32拍～32拍の間で選択できます。短いループを使って“連続音”のような効果を得ることができます。ループ・ロールはボタンが押されている間のみ有効です。

SHIFT + AUTO LOOPでループ・ロールが有効になります。ループの長さは画面に表示されている設定が適用されます。

ループ・ロールはボタンが押された時点で始まり、離すと解除されます。



## ミックス

ここまではトラックの検索、ロード、再生を説明しました。トラックの再生ができましたら、次はミックスに移ります。

### 次のトラックを検索する

1 トラック目の再生を始めたら次にミックスをするトラックを検索します。BPM 欄を参考にテンポが近いトラックを選択します。

### デッキにトラックをロードする

トラックをロードする前にクロスフェーダーがロードするデッキと反対のデッキ側にセットされていることを確認してください。SCROLL + PFL A もしくは SCROLL + PFL B コマンド、キーボード (CTRL + ←/→)、マウスを使ってトラックをデッキにロードします。

### ヘッドホンでモニターする

デッキにトラックをロードすると PFL 機能 (Pre-fader Listen) が有効になります。PFL 有効時はトラックがヘッドホンにのみ出力されマスターからは出力されません。MONITOR SELECT ノブでヘッドホン内のマスターと PFL 有効チャンネル (CUE) の出力バランスを調整してミックスしやすい状態にします。MONITOR LEVEL ノブでヘッドホン内の音量レベルを調整します。

### スタートポイントを調整する

トラックが一時停止中はスクラッチ・モードが有効になるのでレコードのようにプлатターを回転させて再生開始ポイントを調整することができます。また、SHIFT ボタンを押しながらプлатターを回すとより早いスピードでトラック内を移動することができます。

だいたいのジャンルでは最初のキック音が合わせやすいです

ミックスを始めたい位置に CUE ポイントを設定しておくことで簡単にその位置に戻ることができ、次のミックスでも活用できます。

### BPM を合わせる

トラックの再生ピッチ (スピード) はピッチ・フェーダーで調整します。調整できる範囲はトラックの元々のテンポの ±6% です (PITCH SHIFT ボタンを押すとピッチ・レンジを変更できます。PITCH SHIFT については次項をご参照ください)。ピッチ・フェーダーを上げるとピッチが下がり、ピッチ・フェーダーを下げるとピッチが上がります。テンポの違うトラックのピッチを調整して合わせることで両トラックをミックスしやすくします。トラックの BPM とピッチ・フェーダーの調整値はデッキのトラック名とアーティストの下に表示されます。もっとも簡単な方法は BPM が再生しているトラックと合うまでピッチ・フェーダーを動かすことです。調整をしては仮 CUE ポイントから再生をし、テンポを合わせます。

注: ITCH ではキー・ロックに関係なく広範囲にテンポの調整ができます。詳細は 14 ページをご参照下さい。

### PITCH SHIFT (ピッチ・シフト)

トラックのピッチの調整範囲と中心位置 (±0) を変更します。シフト・アップすると再生スピードが速くなり、シフト・ダウンすると遅くなります。上下ともに 6% ずつ、12 段階シフトします。

ピッチ・シフト実行中であってもピッチ・フェーダーの調整範囲は中心位置から ±6% です。例えば一度シフト・アップした場合、ピッチの中心位置が ±0 から原音の +6% になり、そこから ±6% の範囲 (MAX 12%、MIN 0%) で調整できます。上下のピッチ・シフト・ボタンを同時に押すとリセットされ、中心位置が ±0 に戻ります。



### AUTO TEMPO (オート・テンポ)

両トラックのテンポを簡単に合わせるため、ITCH にはオート・テンポ機能が備わっています。どちらかのデッキの AUTO TEMPO ボタンを押すと、ボタンが点滅し、ピッチ・フェーダーが無効になりテンポが自動的にもう片方のデッキのテンポに合われます。オート・テンポを行うには各トラックの BPM 値が解析されてなければなりません。

オート・テンポ実行中は AUTO TEMPO ボタンが押されていない側のデッキのピッチ・フェーダーでテンポを調整します。両デッキとも AUTO TEMPO が押されている場合、最初に合われたテンポに追従します。

ITCH 画面にはピッチの調整値が表示されており、オート・テンポからマニュアル・テンポに戻す際、ピッチ・フェーダーを適正な位置に動かすのに役立ちます。

### 次のトラックを頭出しする

VCI-300MKII のプлатターにはタッチ・センサーが備わっており、ITCH 起動時は NUDGE (ナッジ) モードに設定されています。

NUDGE モード時はプлатターを動かすことでトラックのピッチをわずかに上下させることができ、両トラックがミックスされていてもわずかにテンポが合っていないとき、補正するために使用します。

SCRATCH ボタンを押すとプлатターはスクラッチ・モードに切り換わり、プлатターが点灯します。スクラッチ・モード時はプлатターに触れるとレコードと同じようにトラック再生が停止し、スクラッチするように前後に動かすと再生位置がプлатターの動きに合わせて移動します。スクラッチ・モード時も、プлатターの黒いプレート部分に触れずに端に触れることで NUDGE モードと同様ピッチを調整することができます。

### BEAT SYNC (ビート・シンク)

両トラックのビート (通常はドラム音) を簡単に一致させることができます。次トラックを頭出ししたあと、わずかに前トラックとビートが合っていない場合 SHIFT + AUTO TEMPO を押してビート・シンクを行います。左デッキで再生しているトラックに右デッキのトラックを合わせる場合は SHIFT + 右 AUTO TEMPO ボタンを押します。ビート・シンクを行うにはあらかじめ両トラックのテンポを近い状態にしなければなりません。

### REPEAT AUTO PLAY (リピート・オート・プレイ)

バーチャル・デッキ内の CONT ボタンを押すとリピート・オート・プレイが有効になります。有効時はトラックの再生が終わると次のトラックが自動的に再生されます。CRATE からロードした場合は CRATE 内のトラックが、ライブラリからロードするとライブラリ内のトラックが再生されます。

※リピート・オート・プレイを正しく機能させるには SETUP 内の「Play from start」を有効にする必要があります。詳細については 21 ページをご参照ください。

## ライブラリを活用する

ITCH のライブラリでは簡単にトラックを検索・管理することができます。トラック数に制限はなく、ご使用のハードディスク容量のみに左右されます。

### メイン・ライブラリ画面

#	bpm	song	artist	album	length
2	120	10 pm	Action Track	Moon Mountain Sounds	05:08.46
3	174	500 Degrees	Grenadesafe	Tip The Roof	07:04.80
13	124	Beak Fish	Subwall	Subwall	05:06.76
1	127	Bedlands	Atomic Load	Million	04:14.90
4	103	Batman you're Fying	Suddenly Loose	Northern Lights	04:18.32
5	174	Bring me Back	Bobabacker	Everything Else Known to man	08:58.08
6	121	Contemplating A Noisy future	Massivelm	Inside A Noisy Brain	13:10.28
7	94	Dark Of The Light	Combali	Combali	04:53.64
8	128	Defend	The Gully	My Only Salvation	02:52.04
9	97	Dignity	Trade Slater	Downsetting	02:59.10
10	174	Evening Dark	Bobabacker	Moon Mountain Sounds	06:42.91
11	125	Feel me	Blow	Tip The Roof	08:27.06
12	174	Filthy Joe	Grenadesafe	Tip The Roof	06:00.75
14	139	from there to here and back again or not	Suddenly Loose	Northern Lights	05:40.53
15	110	God Of The Sky	Cyberskin	Northern Lights	05:03.16
16	132	Lesser Thought Process	Task Foundation	Lesser Thought Process	06:54.41
17	97	Lights Out	Solar Flower	Moves On	04:42.93
18	89	Loosey Lucy	Brain over a hill	hug It Or kiss It?	04:13.28
19	136	May we be Open and Lost	Flying Blue	We Have Responsibilities	09:05.33
20	126	Move Forward	Subwall	Self Titled	07:24.45
21	140	Not Heaps	Calligraphy	The Hurricane	03:43.14
22	136	Nymphs	The 88	Get Dancing	05:03.46
23	126	Out of it	Subwall	Self Titled	06:21.20
24	146	Pussycat	Four Lane Highway	The Mechanical Man	03:59.28
25	119	Rainbow City	Massivelm	Inside A Noisy Brain	03:39.48
26	95	Redeemer	Solar Flower	Moves On	04:44.00
27	138	Restless Address	Massivelm	Inside A Noisy Brain	05:28.70
33	130	Smashing Up Mom's Golf cart	Head of Roosters	Head of Roosters	01:52.01
38	125	St. Ignace dance	Yesterdays Rebel	Moon Mountain Sounds	07:44.89

### CRATE (クレート)

ITCH では CRATE (クレート) と呼ばれるフォルダでトラックを分類・整理します。CRATE の数に制限はなく、また同一ファイルを複数の CRATE に入れることができます。メイン・ライブラリ画面の左側が CRATE ・エリアです。

例えば下記のように CRATE を分類し、すべてに同一ファイルを保存することができます。

- ・ヒップホップ
- ・UK ヒップホップ
- ・フランス・ヒップホップ
- ・インストラメンタル
- ・オールド・スクール
- ・ヒップホップ・LP

CRATE ・エリア右上の「+」アイコンをクリックすると新しいフォルダが作成されます。CRATE 名をダブル・クリックすると、CRATE 名を編集できます。CRATE 内のトラック順はトラックをドラッグすることで変更することができます。

※CRATE の編集を無効にするには setup 内の「protect library」にチェックを入れてください。CRATE ファイルは .crate 拡張子がつきます。  
→21 ページ参照

### SUB CRATE (サブ・クレート)

CRATE の中にある CRATE のことを SUB CRATE (サブ・クレート) と呼びます。CRATE を CRATE ・エリアの一番左にドラッグすると CRATE ツリーの一番上に残ります。CRATE を他の CRATE の上にドロップするとその CRATE の中の SUB CRATE となります。各 CRATE の中の SUB CRATE 一覧表示は切り換えができるので簡単にブラウズができます。

### トラック情報表示設定

トラックの情報が表示されているエリアは下記の項目を表示させることができます。

- ・アルバム
- ・アーティスト名
- ・ビットレート
- ・BPM
- ・コメント
- ・作曲者
- ・ファイル名
- ・ジャンル
- ・グループ
- ・レベル
- ・トラック時間
- ・保存場所
- ・リミックス者
- ・サンプリング・レート
- ・ファイル・サイズ
- ・トラック
- ・年

ライブラリ右上 (スクロール・バーの上) の三角ボタンをクリックすると項目リストが表示され、表示したいものにはチェックをつけます。また、各項目の端をドラッグすることで表示幅を自由に変えることができます。

### TAGGING (タグ)

トラック情報の各項目を ITCH 上で編集することができます。メイン・ライブラリ内の編集したい項目をダブル・クリックして編集します。ただし、ファイル名、トラック時間、ファイル・サイズ、ビットレート、サンプリング・レートは編集できません。編集を行う場合は「setup」の protect library にチェックがついていないことを確認して下さい。→22 ページ参照

※キーボードの Ctrl キー + E で項目を選択した状態からすぐに編集ができます。Ctrl キーを押しながら方向キーを押すと、編集モードのまま別の項目に移動できます。複数のトラックを選択している場合、まとめて編集されます。

※ライブラリ・アイコン欄の右にはトラックのラベル色が表示されます。クリックすると色パレットが表示され好みの色が選択できます。トラックをロードするとパーティクル・デッキがラベル色と同色に変更されます。

※読み込み専用ファイルには錠アイコンがついています。

## ALBUM ART (アルバム・アート)

トラックにアルバム・アートが保存されている場合、show album art をクリックすると表示できます。トラックへのアルバム・アートの保存は専用アプリケーションを使って行ってください。

## LIBRARY AUTO-BACKUP (ライブラリ・オート・バックアップ)

ITCH をインストールすると HDD に「Serato」というフォルダが作成され、ライブラリ・データベース、CRATE 情報やその他の情報が保存されます。「Serato」フォルダは Windows なら「マイミュージック」、Mac なら「ミュージック」フォルダ内に作成されます。

また、外部ハードディスクからトラックをロードした場合もそのハードディスクに「Serato」フォルダが作成されます。

インストール後 ITCH を初めて終了するときにライブラリのバックアップを促すメッセージが表示されます。ライブラリをバックアップするとシステム・ドライブ上と接続されている「Serato」フォルダが作成されている外部ハードディスクに「Serato」フォルダがコピーされます。フォルダは「SeratoBackup」というタイトルで保存されます。以降、そのハードディスクへのバックアップから一週間以上経過している場合やバックアップが存在しない場合にバックアップを促すメッセージが表示されます。ITCH はバックアップをひとつしか取らないため、バックアップする度に以前のデータが上書きされます。

※バージョン 1.1 以前の ITCH または Scratch LIVE をインストールされている場合は「Serato」ではなく「ScratchLIVE」というタイトルで保存されます。  
※ハードディスクが読み込み専用になっている時は、「Serato」フォルダが作成されません

## ライブラリ管理

RESCAN ID3 TAGS RELOCATE LOST FILES

### RESCAN ID3 TAGS (ID3 タグを再スキャン)

RESCAN ID3 TAGS ボタンはファイルパネル内にあり、ライブラリ内のトラックすべてのタグを読み込みます。他ソフトウェアなどでタグを編集した場合に使用します。

※保存場所が見つからないファイルを探すのに便利です。(移動したファイルなど) 見つからないファイルはすべて赤字で表示され、? マークがアイコン項目に表示されます。

### RELOCATE LOST FILES (ファイル保存先の更新)

RELOCATE LOST FILES ボタンはファイルパネル内にあります。ライブラリに追加されているファイルを移動した場合、ライブラリでは見つからないファイルとして赤字で表示されます。移動先のフォルダを RELOCATE LOST FILES ボタンにドロップすると ITCH がフォルダ内を検索し、ファイルの場所を更新します。

RELOCATE LOST FILES 機能は接続されているすべてのドライブを検索するため少々時間がかかる場合がございます。

### Scratch LIVE のデータをロードする

ITCH は Rane Serato Scratch LIVE と同じライブラリを使用しているため、Scratch LIVE で設定したトラックのループ、CUE ポイントをそのまま ITCH で使うことができます。同様に、ITCH で設定した情報も Scratch LIVE で使うことができます。このため、どちらのライブラリで情報を編集しても同一ファイルに保存されるので、ソフトを切り換えるときなどはご注意ください。

## HISTORY

period	name	artist	start time	end time	playtime	deck	notes
▼ this year							
	▶ 22/04/09		22/04/09 3:41:36 PM	22/04/09 3:49:40 PM	00:08:04		
	▶ 23/04/09		23/04/09 9:41:09 AM	23/04/09 9:43:11 AM	00:02:02		
	▶ 23/04/09		23/04/09 9:48:18 AM	23/04/09 9:47:14 AM	00:00:56		
	▶ 9/06/09		9/06/09 11:42:24 AM	9/06/09 11:51:16 AM	00:08:52		
	▶ 2/07/09		2/07/09 2:38:23 PM	2/07/09 2:40:15 PM	00:01:52		
▼ today							
	▶ 23/07/09		23/07/09 9:40:31 AM				

START SESSION END SESSION INSERT TRACK Show Unplayed Tracks CLEAR

ITCH の「HISTORY」ボタンを押すと HISTORY パネルが開きます。このパネルには ITCH で再生されたトラックの履歴がセッションごとに表示され、またそれらの履歴情報をデータファイルとしてエクスポートすることができます。各セッションは日付と時間で分けられます。セッション左の▲ボタンをクリックするとそのセッションで再生されたトラックとそのアーティストが日付時間別に表示されます。

また、各セッションの下記情報も表示されます。

### Start Time

トラック一覧を表示している場合は各トラックのスタート・タイムが表示され、セッション一覧を表示している場合は各セッションのスタート・タイムが日付と共に表示されます。

### End Time

トラック一覧を表示している場合は各トラックのエンド・タイムが表示され、セッション一覧を表示している場合は各セッションのエンド・タイムが日付と共に表示されます。

### Playtime

トラック一覧を表示している場合は各トラックの総プレイ時間 (例: 00:03:00) が表示され、セッション一覧を表示している場合は各セッションの総プレイ時間 (例: 10/09/08 01:38:16) が日付と共に表示されます。

### Deck

トラックが再生されたデッキが表示されます。「left」か「right」で表示され、オフライン・プレーヤーで再生した場合は「offline」と表示されます。

### Notes

トラックまたはセッションについてのメモやコメントを記入できます。(次のトラックへどうつなげたかなどを記しておくとう便利です)

START SESSION END SESSION INSERT TRACK

### Start Session / End Session

「Start Session」ボタンは新規セッションを作成、「End Session」はセッションを終了します。

### Insert Track

セッションに ITCH で再生されていないトラックの情報を加えたい場合 (CD やレコードを再生した場合など) は、挿入したい位置の上のトラックを選択して「Insert Track」ボタンを押します。新たな段が追加され、「double click to edit」と表示されます。追加された段をダブル・クリックするとテキストが入力可能になります。(m3u フォーマットでプレイリストをエクスポート (下記参照) した場合、Insert Track にて挿入されたトラック情報は含まれません)

### Export

各セッションをデータファイルとして保存することができます。セッションを選択し、「EXPORT」ボタン右のタブメニューからフォーマットを選択してから「EXPORT」をクリックします。各フォーマットについては以下を参照ください。

text : テキストファイル形式。一般的なフォーマットで専用ソフトがなくても開けます

csv : 表計算ソフトなどで使われるフォーマットです

m3u : メディア・プレーヤーなどにインポートできるフォーマットです。m3u ファイルはオーディオ・データを含まず、代わりにファイルの保存先情報が書き込まれています。(セッション内の挿入されたトラック情報は m3u プレイリストに含まれません)

※セッション情報を含んだ新規 CRATE を作成する場合、セッションをクレート・エリア右上の「+」にドラッグ&ドロップします。作成された CRATE は自動的にセッションの日付がタイトルとしてつけられます。

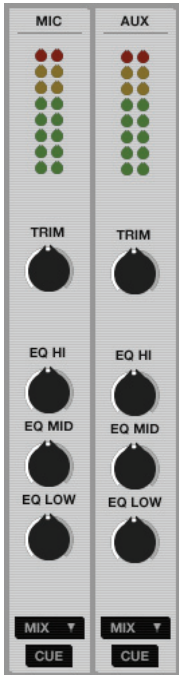
### 履歴の作成について

HISTORY には実際に再生されたトラックのみ記録されます。これは A-B アルゴリズムを使って行っており、B デッキのトラックが変更もしくは取り出されない限り A デッキのトラックは記録されません。「Show Unplayed Tracks」を有効にすると再生はしてないがロードしたトラックを表示します。これらのトラックは実際に再生されたトラックと区別され灰色で表示されます。

また、再生したトラックとしていないトラックの表示を手動で変更することができます。トラック (もしくは複数) を選択し「mark played / unplayed」ボタンを押します。CD やレコードでトラックを再生して記録として残したい場合に使います。再生されたトラックはライブラリ内でオレンジ色に表示されます。「CLEAR」ボタンを押すとすべてのトラックが白色表示に戻ります。

## レコーディングとマイク

### MIC と AUX 入力をミックスする



VCI-300MKIIにはMIC入力とAUX入力が備わっており、それぞれのアイソレーターと音量レベルは画面内でコントロールします。各入力はマスター又はクロスフェーダーの左右どちらかにアサインできます。画面右上のMIC/AUXボタンをクリックしてミキシング・パネルを表示します。

パネル内のノブはマウスで操作し、パネル下部のドロップ・ウィンドウでアサイン先を設定します。またVCI-300MKIIの各入力部にはゲイン・コントロールが備わっておりITCHに信号が送られる前の入力レベルを調整できます。

※ITCHのノブを「Ctrl」を押しながらクリックすると12時の位置にリセットされます。

### レコーディング

VCI-300mkIIでのMIX、MICとAUX入力をITCHでレコーディングすることができます。レコーディングのコントロールは画面右デッキの上部に配置されています。ドロップ・メニューからレコーディングをするソースを選択するとレコーディング・メーターにレコーディングされる信号レベルが表示されます。MIXを選択した場合、VCI-300mkIIのフェーダー、イコライザー、マスター・レベルを通ったマスター出力からの信号がレコーディングされます。レコーディングするソースの各コントロール部でレコーディングレベルを調整してください。MICとAUXのコントロールを表示するには画面右上のMIC/AUXボタンをクリックしてください。

AUX入力(リアパネル)の右横にはTHRUスイッチが備わっており、AUXとMICの音声信号を直接MASTER OUTに出力します。スイッチONの時でもアプリケーション側は入力信号を受け取り、録音もできます。プレイ中にレイテンシーが気になる場合は、THRUスイッチをONにして使用すると気にならなくなります。

レコーディングの開始・停止はRECボタンで行います。レコーディングしたファイルを保存するには入力フォームにタイトルを入力し、SAVEボタンをクリックしてください。ITCHでレコーディングされた音源はメイン・ライブラリ・フォルダ内のレコーディング・フォルダに保存されます。

レコーディングするフォーマットとビットレートをSETUPのPLAYBACKタブにて選択できます。→21ページ参照

## その他の設定

SETUP メニューでは ITCH のシステム設定が行えます。サーチ・ボックス左の SETUP ボタンをクリックすると SETUP メニューが表示されます。メニューは HARDWARE (ハードウェア)、PLAYBACK (再生設定)、LIBRARY (ライブラリ設定)、DISPLAY (画面表示設定)、MIXER (VCI-300 設定) の 5 つのタブに分類されています。

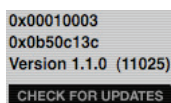
ITCH のバージョンは SETUP 画面の左下に表示されています。

バージョン情報の下には「CHECK FOR UPDATES」ボタンがあり、クリックするとオンラインでアップデート版があるかを調べてくれます。

※アップデートを調べるにはインターネットに接続する必要があります。

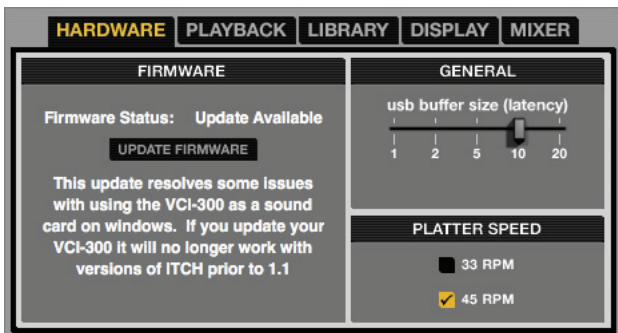
### SOFTWARE VERSION (ソフトウェア・バージョン)

ITCH のソフトウェア・バージョンは SETUP 画面の左下に表示されます。



この「CHECK FOR UPDATE」ボタンをクリックすると、web ブラウザを通じて HYPERLINK "http://www.serato.com" http://www.serato.com に接続し、現在使用している ITCH のバージョンアップが必要かをチェックすることができます。

### HARDWARE (ハードウェア)



#### FIRMWARE

ファームウェアバージョンを知らせます。アップデートが必要な場合は Firmware Status が "Update Available" と表示されます。この場合は「UPDATE FIRMWARE」ボタンをクリックしてアップデート行ってください。アップデートの必要がない場合は Firmware Status が "Up To Date" と表示されます。

#### GENERAL

##### USB BUFFER SIZE (LATENCY)

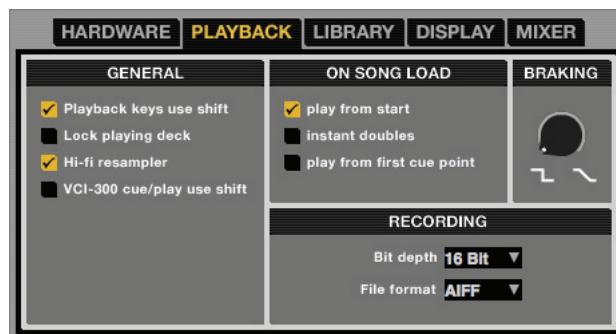
USB バッファ・サイズの設定メニューです。

ITCH はオーディオ・データを細かく分割して再生します。この分割サイズが小さくなるほどプлатターの動作が正確に伝わり、結果システムのレイテンシーが低くなります。しかし、この設定を実行するとシステム負荷が増え処理能力の高い CPU が必要とされますので、低バッファ・サイズ設定で安定した音声出力を実現するにはスペックの高いコンピューターが求められます。より正確なコントロールを求める場合は設定を低くしてください。ただし、出力が不安定な場合は設定を上げてください (もしくはスペックの高いコンピューターをご使用ください)。

##### PLATTER SPEED

バーチャル・デッキの再生スピードを 33RPM もしくは 45RPM から選択できます。

### PLAYBACK (プレイバック)



#### GENERAL

再生オプションのメニューです。

##### PLAYBACK KEYS USE SHIFT

キーボードでの CUE ポイント、ループ、再生コマンドの入力が shift キーと同時に押し、Caps lock がオンになっていないと効かなくなります。

##### LOCK PLAYING DECK

トラックのロードを再生一時停止中のみでできるようにします。

##### HI-FI RESAMPLER

トラックの低速・高速再生時に発生するデジタル・ディストーションを軽減します。CPU 負荷が若干増加します。デフォルトで設定されています。

##### ON SONG LOAD

トラックがデッキにロードされたときにに関する設定メニューです。

##### PLAY FROM START

トラックの先頭から再生が開始されます。この機能が設定されていない場合、トラックをロードすると前に再生していたトラックの最終再生位置から再生が始まります。INSTANT DOUBLES 又は PLAY FROM FIRST CUE POINT が設定されていると無効になります。デフォルトで設定されています。

※PLAY FROM START が設定されていてトラックのはじめに無音部分があった場合、トラックの音がある部分から再生がスタートします。

##### INSTANT DOUBLES

ひとつのトラックを両デッキで再生し、簡単にダブリングをします。例えば左デッキにロードされ再生しているトラックを右デッキにもロードすると、右デッキにロードされた方の再生位置が自動的に左デッキと合わされ、キー・ロック設定とループ設定もコピーされます。有効時は PLAY FROM START と PLAY FROM FIRST CUE POINT 設定が無効にされます。

##### PLAY FROM FIRST CUE POINT

最初にセットされた CUE ポイントから再生が開始されます。有効時は PLAY FROM START が無効になります。トラックに CUE ポイントが設定されていない場合は頭から再生されます。

##### BRAKING

再生を停止するときに、停止ボタンを押してからトラックが完全に停止するまでの時間を設定します。ツマミが一番左で即停止、右に回すごとに停止までの再生スピードがなだらかになります。

##### RECORDING

ITCH でレコーディングをする際のビットレートとフォーマットを選択するメニューです。

##### BIT DEPTH

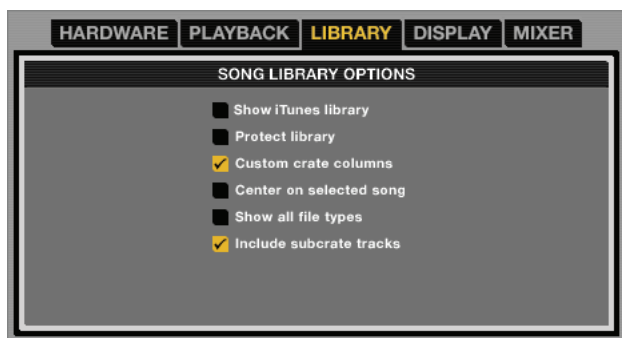
16Bit と 24Bit から選択できます

##### FILE FORMAT

AIFF と WAV から選択できます

## LIBRARY (ライブラリ設定)

ライブラリの各種設定メニューです。



### SONG LIBRARY OPTIONS

#### SHOW iTunes™ LIBRARY

iTunes™のライブラリとプレイリストをITCH上で表示します。

ITCHに表示されるiTunes™ライブラリは青色のiTunes™フォルダアイコン内の▲をクリックするとたむことができます。

#### PROTECT LIBRARY

ライブラリ内でのテキスト編集、ファイル及びCRATEの移動と削除を無効にします。

#### CUSTOM CRATE COLUMNS

CRATE、プレイリストの項目のカスタマイズを有効にします。無効時（デフォルト）ではすべての項目表示が「ALL」と統一されます。

#### CENTER ON SELECTED SONG

選択したトラックをライブラリの中心に固定したまま、上下にスクロールを可能にします。

#### SHOW ALL FILE TYPES

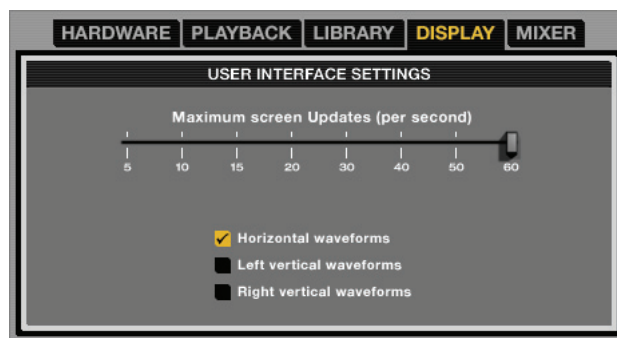
ファイルのインポートを行うとき、ハードディスク内のすべてのファイルを表示します。設定されていない場合はITCHで再生できるファイルのみ表示されます。

#### INCLUDE SUBCRATE TRACKS

SUB・CRATEに入っているトラックを表示します。設定されていない場合、SUB・CRATE内のトラックは表示されません。

## DISPLAY (画面設定)

画面表示設定のメニューです。



### USER INTERFACE SETTINGS

#### MAXIMUM SCREEN UPDATES

1秒間の画面情報更新回数を設定します。処理速度の低いCPUやレコーディング・プログラムを使用している場合は更新回数を下げることをお勧めします。デフォルト設定は60Hz (60回/1秒)です。この設定はパーチャル・デッキ、波形表示、ライブラリ、セットアップなどITCH上のすべての動作に影響します。

#### HORIZONTAL WAVEFORMS

メイン波形を横向きに、画面下部に表示します。

#### LEFT VERTICAL WAVEFORMS

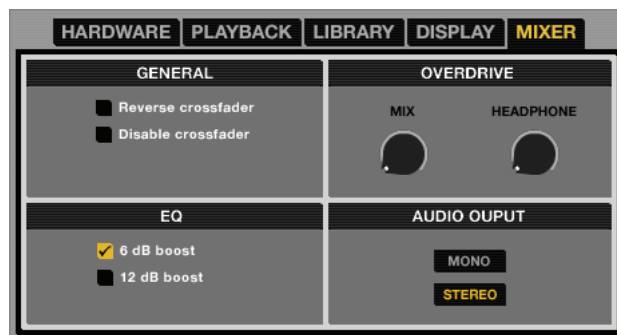
メイン波形を縦向きに、画面左部に表示します。

#### RIGHT VERTICAL WAVEFORMS

メイン波形を縦向きに、画面右部に表示します。

## MIXER

VCI-300MKIIの設定メニューです。



### GENERAL

クロスフェーダーの設定メニューです。

#### REVERSE CROSSFADER

クロスフェーダーの機能を反転します。

#### DISABLE CROSSFADER

クロスフェーダーの機能を向こうにします。

#### EQ

イコライザーのゲイン値を6dBと12dBから選択できます。

#### OVERDRIVE

VCI-300MKIIの出力レベルを調整します。

#### MIX

マスター出力レベルを上げます。

#### HEADPHONE

ヘッドホンの音量レベルを上げます。

※オーバードライブを上げることで音質が劣化する場合がございます。出力レベルにおいて問題がある場合にのみ上げることをおすすめします。

## WHITELABEL オーディオファイル

Whitelabel オーディオ・ファイルとは Serato 社によって開発された新しいフォーマット (wl.mp3) の音楽ファイルです。ITCH での再生を念頭においてデザインされたフォーマットなので既に解析がされており、トラック、アーティスト、BPM、アルバムアート等の情報も付加されています。ITCH コントローラーにて ITCH を操作している場合、320kbps の高音質ステレオで再生されます。ITCH コントローラーが接続されていない場合、またその他の再生ソフトウェアにて再生される場合は低音質の 32kbps モノラルで再生されます。ホワイト・レーベルのトラックは各レコード・レーベルより ITCH DJ のためのプロモーションのためにリリースされているもので、ITCH ユーザーであれば無料で whitelabel.net よりダウンロードすることができます。

### Whitelabel .net

Serato Whitelabel Delivery Network ではレコード・レーベルに世界中の DJ ヘブプロモーション・リリースを配信する機会を与えます。Whitelabel オーディオ・ファイルをダウンロードとプロモーションリリースなどの最新情報の配信は <http://www.whitelabel.net/> をご覧ください

### 一部のロック付ファイルについて

レコード・レーベルやアーティストの著作権などにより、一部の Whitelabel オーディオファイルにはロックがかかれています。ご自身で正規にダウンロードされたファイルであれば、whitelabel.net にて登録されている E メールアドレスとパスワードを入力することでロックを解除し ITCH にて再生できます。ロック解除についてのトラブルや質問等は Serato のユーザーサポートにお問い合わせください。( [www.serato.com/support](http://www.serato.com/support) )

### Whitelabel .net System 推奨動作システム

Whitelabel.net は以下のブラウザで動作が実証されております：

- Internet Explorer 6 以上 (7 以上を推奨)
- Firefox 3 以上
- Safari 3 以上

ファイルのプレビューとダウンロードには Flash のインストール及び Javascript を有効にする必要があります。

## トラブルシューティング

ITCH をご使用いただいている時に十分な動作性能が得られないときは、お客様の PC 環境で下記の内容を試してみてください。

- ITCH ソフトのオンライン・サポートページのアップデート情報をご確認ください
- ITCH 以外の他のアプリケーションソフトを閉じてください
- ワイヤレスネットワークを無効にしてください
- Bluetooth を無効にしてください
- ウィルス対策ソフトを無効にしてみてください
- スクリーン・セーバーを無効にしてください
- スリープ・モードを無効にしてください
- USB バッファ・サイズを上げてみてください
- VCI-300MKII をコンピューターの USB 端子に直接接続してください (USB ハブは使用しないでください)
- 他の USB 端子も試してみてください
- コンピューターに接続している他の USB 機器をはずしてください
- ノートパソコンをご使用の場合は電源アダプターを接続してください
- VCI-300MKII 用の電源アダプターを (別売) 接続してください

## サポート

### ITCH ソフトウェア・アップデートとオンライン・サポート

ITCH に関するアップデート情報とオンライン・サポートについては下記ウェブサイトをご覧ください。

URL "<http://www.serato.com/itch>" <http://www.serato.com/itch>

お問い合わせの際にお客様の ITCH ソフトやコンピューター環境について下記の内容もご連絡いただくと、よりの確なサポートを行うことが出来ます。

- ITCH ソフトウェアのバージョン
- OS の種類 (Mac OS version, Windows OS version)
- コンピューターのモデル名、メーカー名、スペック (CPU type, speed, RAM)

### VCI-300MKII サポート

VCI-300MKII のサポート及びカスタマーサービス、補償については下記にお問い合わせいただくか、下記ウェブサイトをご覧ください。

お問合せ先：<http://www.vestax.co.jp/ja/>

## 破損 / エラーファイル

Corrupt file: This Mp3 contains invalid frames	このファイルには正式な MP3 規格に準拠していないフレームが含まれています。ITCH での正常な再生は保証できません。
Corrupt file: This file contains corrupt frames that may result in audible glitches	このファイルには連続した破損フレームが含まれています。破損したフレームは無音で再生されますので音声途切れたように聞こえます。
Corrupt file: This file has been split. You should check the beginning for audio glitches	このファイルの一つ目の MPEG 音声フレームにあるはずの音声失われています。不正な MP3 編集が原因と見られます。破損したフレームは無音となることと、多くのトラックが無音から始まることにより気付かない場合がありますが、確認のためにお聞きになることをおすすめします。
Corrupt file: This Mp3 contains frames with corrupt data	MPEG 音声フレームのデコードに失敗しています。フレームに不正なデータが含まれていた可能性があります。その他の破損ファイルと同様に、破損部分は無音で再生されます。
Corrupt file: This Mp3 file lost synchronization between the frame index and the frames	別の編集プログラムで編集された MP3 の古いオーバー・ビューを読み込んでいます。オーバー・ビューを再作成してください。
Corrupt file: This Mp3 is completely invalid and is not playable	このファイルは不正でデータのため再生できません。不良セクタ、システムファイルの破損、間違ったファイル形式・拡張子の使用、などが原因と考えられます。
Corrupt file: This file contains invalid audio data	音声データ検索中に大量の不正データが見つかりました。このメッセージは再生しようとしているファイルに破損データが含まれていることをお知らせします。必ずしも再生への影響があるわけではございません。
Corrupt file: This Mp3 contains no valid frames	音声データが見つかりませんでした。ITCH では再生できません。正しい音声ファイルであるかどうかご確認下さい。
Unsupported file: This Mp3 contains multiple layers	ファイルのスキャン中に多層 MPEG のフレームが見つかりました。ITCH では多層フレームを含む Mp3 を再生できません。フレームによっては無音として再生されます。
Unsupported file: This file is more than 2GB in size	ファイル・サイズが 2GB を超えています。ITCH では現在 2GB を超えるサイズのファイルをサポートしていません。
Unsupported file: This file had data blocks greater than 2GB size	ファイル内に 2GB を超えるデータ・ブロックが存在します。ITCH では 2GB を超えるファイルはサポートしていません。
Corrupt file: This WAV contains no valid chunks	このファイルには確認できる WAV データがありません。WAV ファイルではない可能性があります。
Unsupported file: This file's data is not in PCM format	WAV ファイルには数種類のフォーマットがあります。ITCH では PCM フォーマットの WAV ファイルのみが再生できます。
Unsupported file: This file has a sampling rate greater than 48kHz	ITCH ではサンプリング・レートが 48kHz を超えるファイルをサポートしていません。このメッセージが表示された場合はファイルを 48kHz でサンプルし直し保存することをおすすめします。
Unsupported file: This file uses more than 24bits per sample	ビットレートが 24bit を超えています。ITCH では音声のサンプルデータにつき最大 24bit までをサポートしています。
Corrupt file: This WAV is incomplete	データ量が予想ファイル・サイズに達していません。データが破損しているか、正しく編集されていないため、ITCH がファイル内のデータ量を正しく判断できません。
Corrupt file: This file contains corrupt blocks	このファイルにはサイズがゼロのブロック・データが存在します。以前の ITCH でロックの原因となるファイルを見つけるために加えられたメッセージです。
Corrupt file: This song contains no audio data	音声データが見つかりませんでした。ITCH がサポートする形式のフォーマットで音声データが含まれているかご確認ください。
Corrupt file: This song contains invalid samples	このファイルにはサイズの小さい音声サンプルが含まれています。サイズが小さすぎるためにゼロとして認識される場合があります。再生においては特に影響は出ませんが、以前の ITCH では音声途切れたりする場合があります。



保証とアフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

— 保証期間 —  
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ちり6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。  
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ ( ) -